



ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出合いや発見がきっとある

就任のご挨拶



宇田川 洋

この度、新谷淳治前会長の生涯学習への熱き思いを受けとめ、当協会の会長に就任させていただきます。これまでの数年で、道民全ての生涯学習社会実現のために些かでもお役に立ち得るよう努力して参る所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

ポール・ラングランによって生涯学習が提唱されて以来、我が国においてもここ数年で生涯学習の実践が進み、今や学習の成果活用が課題となつてまいりました。私たちのふるさと北海道は、経済をはじめ様々な困難に遭遇しております。しかし、ふるさとを知り、ふるさとの明日を築く人づくりにつながる「ほっかいどう学」の推進をはじめ、当協会としてどのように北海道の生涯学習振興に寄与していくのかを明らかにしつつ、会員、関係機関、団体各位の協力を得ながら、各種の事業の取組を進めていくことが大切であります。

私自身も学びつつ、ともに前進して参ることをお誓いし、就任のご挨拶といたします。

退任のご挨拶



新谷 淳 治

平成十二年、前会長富原薫氏の後をお引受けして以来三期六年間を以て、此の度会長を退任致しました。

会長就任中に賜りました関係各位のご交誼、ご指導に対しまして厚く御礼を申し上げます。

只今、道内に於きましても、過疎現象を要因とした市町村の統合問題が具体化しつつあり、改めて様々な角度から見直されております。

中でも特に、終戦後六十有余年を現代社会の人間関係に焦点を合わせた視点が欠かせない部分と申せます。

更には、北海道ならではの風土・歴史・文化を活かした地域振興策が根底に肝要でありましょう。

特に協会事業との関わり合いでは、平成十三年以降、北海道教育委員会の委託を受け実施中の「道民カレッジ」は、北海道内の人材育成を目的とした事業として順調に進められ、多くの受講者が巣立っておりますが、地域を結ぶ掛橋となるよう活躍を期待しております。

時代はどのように変化しても、所詮、人と人との温もりのないところに大義は生じません。

当協会が新会長宇田川洋さんを柱として愈々の発展をなしますよう祈念申し上げます。

目次

- 平成18年度第1回理事会・評議員会..... 2～3
- 道民カレッジボランティアの紹介..... 5
- (新役員紹介)
- 団体紹介..... 5
- 情報交流広場と視聴覚センターの窓口統合のお知らせ... 3
- 視聴覚センターからのお知らせ..... 6
- 道民カレッジからのお知らせ..... 4
- 人の動き、新会員紹介..... 6

平成十八年度第一回理事会・評議員会開催

平成十八年度の理事会・評議員会がそれぞれ五月二十五日（木）に開催され、新谷会長の挨拶のあと議事に入り「平成十七年度事業報告」及び「平成十七年度収支決算、監査報告」が提案され原案どおり承認されました。

役員の任期満了に伴う理事・監事及び評議員は左記のとおり選任されました。

また、理事の互選によりまして役員の選出も行われ、新会長に宇田川洋氏が選出されました。

新役員紹介



会長 宇田川 洋（前東大大学院教授）

副会長 中田 和子（北海道女性団体連絡協議会 会長）

〃 大久保 尚孝（北海道中小企業家同友会 相談役理事）

〃 中井 和夫（財北海道地域活動振興協会 常務理事）

〃 関 寺 恭朗（北海道社会教育委員連絡協議会 会長）

専務理事 白 野 覚（財北海道生涯学習協会・事務局長）

理事 芥 川 紘 征（北海道放送株式会社 常勤監査役）

〃 阿 部 廣太郎（北海道町村教育委員会連合会・斜里町教育長）

〃 網 規 行（㈱北洋銀行 人事部長）

〃 川 道 一 司（北海道PTA連合会 会長）

〃 佐 藤 光 明（北海道新聞社 取締役事業局長）

〃 斉 藤 大 雄（北海道文化団体協議会 会長）

理事 善養寺 圭子（社北海道家庭生活総合カウンセリングセンター 副理事長）

〃 中 村 博（北海道公民館協会会長・占冠村教育長）

〃 氷見山 幸夫（北海道教育大学 生涯学習教育研究センター長）

監事 高崎 盛雄（社北海道子ども会育成連合会 常務理事）

〃 中川 勝義（㈱北海道銀行 公務室長）

評議員 足立 直人（北海道社会教育主事会協議会 会長）

〃 石 田 八 朗（北海道青年の家等連絡協議会 会長）

〃 大 木 光 恵（社ガールスカウト日本連盟 北海道支部長）

〃 梶 井 祥 子（北海道武蔵女子短期大学 助教授）

〃 河 地 良 一（北の未来塾21 主宰）

〃 黒 澤 和 夫（北海道高等学校PTA連合会 会長）

〃 小 山 忠 弘（札幌国際大学 教授）

〃 武 田 博（北海道都市教育委員会連絡協議会・登別市教育長）

〃 谷 内 昭 治（学校法人谷内学園 理事長）

〃 入 部 道 之（日本ボーイスカウト北海道連盟 事務局長）

〃 袴 田 勝（北海道青年団体協議会 会長）

〃 原 田 守（北海道高等学校長協会 副会長）

〃 堀 武（財北海道青少年育成協会 専務理事）

〃 宮 崎 博 美（北海道国際女性協会 事務局長）

〃 宮 崎 善 昭（財北海道YMCA 総主事）

〃 森 本 正 夫（日本私立大学協会 北海道支部長）

平成17年度収支計算書総括表
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単価：円)

科目	合計	一般会計	道立推進事業特別	生涯学習センター受託	北海道委員会特別	社会連帯会	教協託計	北協特	北海道公事別	館託計	北協特	北海道公事別	関係人受託	内部取引消去
I 収入の部														
1 基本財産運用収入	8,516	8,516												
2 事業収入	1,252,000	1,252,000												
3 受託事業収入	64,491,000		53,280,000		5,135,000				4,480,000			1,596,000		
4 会費収入	2,134,000	2,134,000												
5 補助金収入	20,858,000	20,858,000												
6 寄付収入	200,000	200,000												
7 雑収入	70,004	70,004												
8 借入金	0	0												
9 繰入金	0	6,500,000												△6,500,000
当期収入合計(A)	89,013,520	31,022,520	53,280,000		5,135,000				4,480,000			1,596,000		△6,500,000
前期繰越収支差額	965,859	965,859	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入合計(B)	89,979,379	31,988,379	53,280,000		5,135,000				4,480,000			1,596,000		△6,500,000
II 支出の部														
1 管理費	23,790,952	23,790,952												
2 事業費	5,164,695	5,164,695												
3 受託事業費支出	55,971,716		51,802,607		2,073,343				1,175,011			920,755		
4 繰入金支出	0	0			3,000,000				3,000,000			500,000		△6,500,000
5 借入金返済支出	0	0												
6 予備費	0	0												
7 補助金(委託費)返納支出	2,038,224	18,940	1,477,393		61,657				304,989			175,245		
当期支出合計(C)	86,965,587	28,974,587	53,280,000		5,135,000				4,480,000			1,596,000		△6,500,000
当期収支差額(A)-(C)	2,047,933	2,047,933	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,013,792	3,013,792	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎情報交流広場と視聴覚センターの窓口統合のお知らせ

今年度から、情報交流広場では、「道民カレッジ」に関する窓口と「視聴覚センター」に関する窓口が一緒になりました。

今までは、10階にありましたビデオやフィルム等の貸出やビデオ相談等の窓口を9階の受付窓口と統合し、ビデオ視聴や10階の試写室を活用しての「ビデオ上映会」を行っています。

また、情報交流広場では、道内各市町村の生涯学習の取り組みや関係機関・生涯学習関係団体の学習成果を紹介する「学びの広場展」を開催しています。無料で会場を提供していますので、ご相談ください。

平成18年度「まなびの広場」展の紹介

- ▼4月
 - 3 17 ファーマーズバスケット
 - 「花まつり V o i 10」
- ▼5月
 - 17 30 国立日高青少年自然の家
 - 「ようこそー夢の冒険大陸へ」
- ▼6月
 - 1 15 おはなしなあに
 - 「おはなしなあにワールド」
 - 16 30 八雲町教育委員会
 - 「八雲山車行列・相沼奴行列」
- ▼7月
 - 1 15 三笠北海盆おどり実行委員会
 - 「第五回三笠盆おどり」
- ▼8月
 - 16 31 子ども文化ネットワーク・江別
 - 「子ども達と共に文化の芽を」
- ▼9月
 - 1 30 道民カレッジ「ほっかいどう学」
 - 大学放送講座実行委員会

▼10月

- 16 31 道教委企画総務部教育政策課制作グループ
- 「北海道教育の日キヤッチフレーズ・シンボルマーク等展示」
- 17 31 北海道美術作家協会
- 「北海道美術作家協会同人展」

▼11月

- 1 15 平取町教育委員会文化財課
- 「平取ゆかりの偉人近藤重蔵展」
- 16 30 日本手工芸レザークラフト研究所
- 「アトリエ Reiko レザークラフト展」

▼12月

- 1 15 国立大雪青少年交流の家
- 「施設紹介・活動紹介パネル展」
- 15 28 北海道心の教育推進会議
- 「心の教育推進キャンペーン強化月間展」

▼1月

- 4 17 北海道保健福祉部地域福祉課
- 「北海道福祉のまちづくり展」
- 18 31 新冠町教育委員会・コード課
- 「レコード、蓄音機展」

▼2月

- 1 28 北海道教育庁生涯学習課
- 「道立教育施設パネル展」

▼3月

- 1 15 アートスタジオBENIO
- 「千代紙 and 羊毛」



道民カレッジからのお知らせ

平成十八年度道民カレッジ事業計画

◎「道民カレッジ」のお知らせ

道民カレッジは、北海道を一つのキャンパスに、道内各市町村や大学等の高等教育機関、各種団体や民間教育事業者等が行う講座等を体系化し、ネットワークを図りながら様々な学習機会を提供し、道民が自らの意思によって、学び、学ぶことができるようにした「生涯学習支援システム」です。

今年で5周年を迎えます。あなたの学びが北海道を変えます。道民カレッジ生になりませんか！

◎「道民カレッジ」の実施状況

(三月三十一日現在)

◇学生数大幅アップ！

1万8000人突破！
平成十七年度 1万8004人
平成十六年度末 1万5233人
平成十五年度末 1万3357人
平成十四年度末 1万1024人
平成十三年度末 7454人

◇管内別学生数

Table with 2 columns: 管内別 (管内別) and 学生数 (学生数). Rows include 石狩, 札幌, 渡島, etc.

◇称号取得者

・学士(1000単位) 118名
・修士(2000単位) 55名
・博士(3000単位) 35名
・学長奨励賞(1000単位) 1名
講座数が大幅に増加

平成十七年度末 1464講座
平成十六年度末 1265講座
平成十五年度末 949講座
平成十四年度末 645講座
平成十三年度末 213講座

■「ほっかいどう学」大学放送講座

- ☆道内の十大学が参加します。
◇十月から放送予定です。
◇再放送(十月中旬以降予定)
◇放送時間は未定

▼「大学放送講座」テキストを販売

◇一冊1000円(送料105円)
(8月下旬販売予定です)
・購入いただき、三十分間のテレビ視聴と併せて、レポートを提出する時の参考にしてください。

◇レポート提出につき必修単位が一単位認定されます。
【放送内容】
第1回 北海道大学 「大人の学びと大学」
高等教育機能開発総合センター 生涯学習計画研究部教授木村 純

第2回 北海道大学 「北海道の財政危機問題を考える」
経済学部地域経済学科講師西村 宣彦
第3回 北海道東海大学 「北海道の加工食品が安全・安心であるために」
工学部海洋環境学科助教教授木原 稔

第4回 札幌大学 「アイヌ文化入門」
アイヌ民族のことばと生活

第5回 文化学部比較文化学科助教教授本田 優子
北海道医療大学 「高齢者虐待の防止に向けて」
看護福祉学部臨床福祉学科教授石川 秀也

第6回 北海道情報大学 「北の風土と音楽」
風の雪と大地の響き
情報メディア学部助教教授三浦 洋

第7回 北海道武蔵女子短期大学 「北海道の子育てと親育ち」
まちづくりとの接点
教養学科助教教授梶井 祥子

第8回 東京農業大学 「北海道の湿原」
湿原の今とこれから
生物産業学部生物生産学科講師中村 隆俊

第9回 北海道教育大学 「古文書にみる江戸時代の北海道」
岩見沢校日本史研究室助教教授谷本 晃久

第10回 旭川大学 「北に活きる企業の創造から現在」
全国に挑む地場企業3社の事例から
経済学部助教教授江口 尚文

■「ほっかいどう学」出前講座

道内の希望市町村から上がってきた地域課題に応じて講師を派遣し、その解決に向けて取り組む生涯学習を支援するもので、主体的に学ぶことにより培われてた知識や能力を生かして、地域づくりに参加する実践講座です。この講座を通して、その地域ならではの活動や地域の人材育成が期待されています。

▼募集期日

平成18年6月30日(金)まで

▼開催場所

概ね6生活圏域12会場で開催

▼役割分担

○カレッジ事務局は講師等の派遣に係る経費を負担します。

○開催市町村は、運営・会場・機器・参加者等をお願いします。

▼参加人数

地域づくり・まちづくりに対して学習意欲のある人30名程度

▼事前打ち合わせ会議

事前に市町村担当者や事務局・所管教育局等で学習プログラムの作成を行います。

☆奮って応募してください。

■「ほっかいどう学」

ネットワーキング推進事業

道民カレッジ5周年を迎える節目の年として、道内各地域で展開されている「地域学」が交流し合い、ネットワークを図ることで、「ほっかいどう学」を全道的に展開するための契機とする。

▼テーマ「地域の学び」を

○期日 平成18年10月13日(金)13時

○会場 道民活動センター(かでの2・7) 札幌市中央区北2条西7丁目

○内容

- ①開会式
②基調講演
③「地域学」実践事例発表会

☆決定次第ご案内を差し上げます。

■「ほっかいどう学」かでの講座

(テーマ)「北海道の『健康づくりと環境』」

道民の生活課題や学習ニーズに対応した自主企画講座「ほっかいどう学」かでの講座を開設します。かでの講座を通して「ほっかいどう学」の推進に一翼を担って参りますので、お申込みをお待ちしています。

○開催期日 10月〜2月

○会場 道民活動センター(かでの2・7) 札幌市中央区北2条西7丁目

○定員 1000名(定員になり次第締切ります)

○日程

・受付 13時〜13時30分

・開講式 13時30分〜

・講義 13時40分〜15時45分

○講座(内容未定)

・10講座を予定しています。

◎「道民カレッジ」

ボランティアの紹介

更なる道民カレッジ運営機能の活性化を目指し、全道48名の道民カレッジボランティアが登録されています。そのうち、札幌近郊の19名の登録者が、本年度から道民カレッジ「事務局ボランティア」をスタートいたしました。現在毎日交代で、相談・広報活動や講座運営補助などのボランティア活動を行っています。

『道民カレッジボランティアとして』

佐藤 一雄



道民カレッジに入学して四年余りになりますが、この間知識や技能を学ぶことのほかに、人生後半のかけがえない友達を得ることができました。

今回、一人でも多くの道民の皆さんに学ぶこと、そして友達を作ることの喜びを知ってもらいたくて、又恩返しも兼ねて道民カレッジボランティアの募集に応募しました。

ボランティアは緒についたばかりですが、まずは道民カレッジ事務局常駐での相談活動を通じて道民カレッジを多くの道民の皆さんに知ってもらおうと思っています。

道民カレッジで学ばれるカレッジ生

の皆さんがより活性化され、活力・熱気が漲る北海道になるよう微力ながらお手伝いしたいと思っています。

◎『道カレ事務局ボラに参加して』

熊谷 ゆき



ボランティア経験のない一年生です。平成十五年に道民カレッジの存在を知り、各種講座を受講してきましたが、益々好奇心が深まるばかりです。道民カレッジのボランティアって何をするんだらうと首を突っ込んでみました。長続きできるよう、力まずに活動していきたいと思えます。



ボランティア打合せ会議

団体紹介

(北海道社会教育委員連絡協議会)
北海道公民館協会

本年度は北海道社会教育委員連絡協議会は役員改選期であり、北海道公民館協会は会長ほか一部役員に変更がありました。両団体の概要、役員名及び事業の概要をお知らせします。

◆北海道社会教育委員連絡協議会

◎創設 昭和三十一年九月

◎会員 二五二三名(十七年度実績)

◎役員 会長 関寺恭朗(苫小牧市)

・副会長 岩岡忠勝(音更町)

・名達潤一(江差町)

・理事 佐藤レイ子(江別市)

後藤田信(倶知安町)

須藤栄松(芦別市) 谷内 博(森町)

山村 壤(新冠町) 竹原福征(旭川市)

吉田忠雄(天塩町) 池田禮子(稚内市)

関谷彰人(中標津町) 鈴木文男(厚岸町)

船木耕二(佐呂間町)

・監事 村井政孝(千歳市)

星野悦男(栗山町)

◎主な事業

①道社連協創立五十周年記念式典兼

第二十六回社会教育委員長等研修会

・期日 七月二十六日～二十七日

・会場 札幌市(ポールスター札幌)

②第四十六回北海道社会教育研究大会

・期日 十月五日～六日

・会場 北見市(北見芸術文化ホール)

③支庁管内研修会

*管内ごとに六月～十一月に開催

④顕彰

・全国社会教育連合表彰者推薦

・道社連協表彰者の選考

⑤機関紙「道社連協だより」発行

並びに関係月刊誌の購読斡旋

◆北海道公民館協会

◎創設 昭和二十七年七月

◎加盟市町村数 二十市六十二町七村

◎役員 会長 中村 博(占冠村教育長)

・副会長 永井克憲(余市町)

槻 泰治(函館市)

長谷山武志(富良野市)

菊地幹夫(根室市)

・常任理事 坂本 讓(白老町)

石川宇多夫(士別市)

福士廣志(留萌市)

遠藤上一(釧路市) 伊藤和宏

・理事 田村敏郎(七飯町)

清野 裕(伊達市)

曾我部充史(和寒町)

松田義也(北見市)

・監事 北澤克康(旭川市)

矢吹俊男(倶知安町)

◎主な事業

①第五十回北海道公民館大会

・期日 九月七日～八日

・会場 網走市

(オホーツク・文化交流センター)

②顕彰

・全国公民館連合表彰者推薦

・道公協永年勤続公運審等表彰

③機関紙「リサーチ」発行並びに全国公民館機関誌「月刊公民館」の購読斡旋

※事務局より

社会教育が成熟し住民の学ぶ意欲が高まっている今、両団体は主催事業の推進と共に生活課題や地域課題の解決に力を入れて取り組んでいる。

視聴覚センターからのお知らせ

☆教育関係者

アンケートから

視聴覚センターでは、平成十七年度末に教育関係者を対象に「視聴覚教材に関するアンケート」を実施しました。

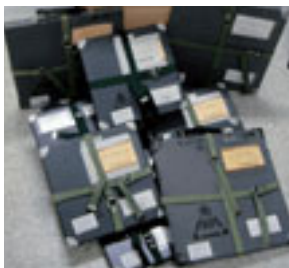
その結果、実に約四割の人が教材借用が無料であることを知らなかったことが明らかにになりました。

教材を活用された方からは、おおむね良い評価を得ていることから、視聴覚センターとしては、チラシの工夫やメール活用など更なるPRに努めて参る所存です。

なお、教材の視聴については、学びの広場のブースや複数であれば視聴覚センター試写室で、視聴することもできますのでご利用ください。



10F試写室



☆相次いで教材の寄贈を受ける

平成十八年度に入り、視聴覚センターでは、北海道コカ・コーラボトリング株式会社（北海道青少年映画育成協議会を支援）と（財）北海道健康づくり財団から相次いで十六ミリフィルムの寄贈を受けました。

コカコーラさんからは、日本のストラディバリウスを目指した青年の葛藤を映し出した「星空のバイオリン」など親子で鑑賞してほしい作品二十数本の寄贈を受けました。

健康づくり財団からは、成人病予防や禁煙教育、薬物乱用防止など健康・保健教育に活用できる作品五十数本の寄贈を受けました。学校や親子対象の事業、健康・保健に関する事業等でご活用ください。

☆新規整備

教材貸出開始!

今回は、学校教育で活用できる教材を中心に整備し、「調べてみよう! 世界のくらし」(全四巻)、「いのちとこころの性教育」(全三巻)、「みんなのどうとくアニメシリーズ」(全四巻)、「でんじろう先生のかがく」(それぞれ! 科学実験隊」(全三巻)他、授業などで使用しやすい教材を多く整備しました。

また、具体的な事例を取り上げて安全の意味を考える「あつ! あぶない きみならどうする」、「学校を守れ! 不審者の侵入を防ぐ」などの教材もそろえました。

また、各種のチラシを作成しましたので、HPなどでご覧の上、教材のご活用よろしくお願ひします。



人の動き

三月三十一日付

相談員

穴蔵 忠 (退職)

主幹

谷口 寿光 (千歳市立支笏湖小へ)

社会教育主事

今 勉

(北海道立生涯学習推進センターへ)

上田 直美 (三笠市立美園小へ)

四月一日付

主幹

十河 栄一

(北海道立砂川少年自然の家から)

原田 英明 (北海道立文学館から)

二階堂洋子

(国立日高青少年自然の家から)

新会員紹介

次の方々新たに賛助会員になりました。

今後ともよろしくお願ひします。

・個人会員

二階堂洋子 (江別市)

黒崎 匡俊 (札幌市手稲区)

成田 美枝 (札幌市白石区)

事務局からのお願ひ

・会員の皆様で住所が変更された方は、事務局までお知らせください。

・会費納入について、誠に恐縮に存じますが本年度の事業も始まりましたので未納の方は納入についてご協力お願ひ申し上げます。

北海道の自然紹介コーナー

大雪山の花



ハイマツ



エゾノツガザクラ



ダイセツトリカブト



コマクサ

撮影者 岩見沢市在住 阿部 豊 氏